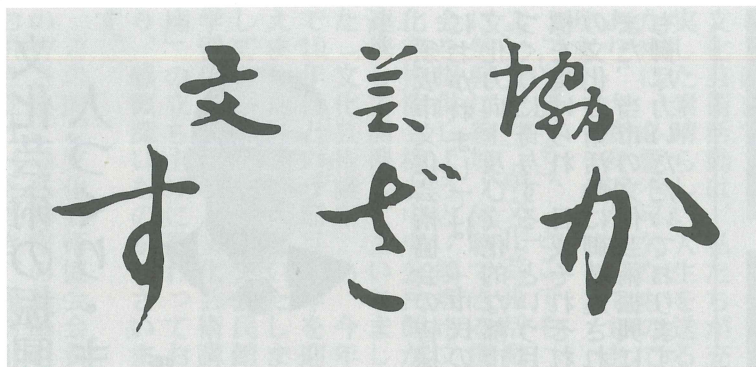




第 39 号

発行所

須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747

須坂市中央公民館内

TEL(026)245-1598 FAX(026)246-3906

印刷所：ヒタキ印刷株式会社

新年交流会

オープニングセレモニー

すみさか民謡会



須高文化交流会

「めざせ！ピンピンコロリ」

健康寿命をのばそう」

講師 須藤 恭弘様



今年の桜の開花は例年にくらべ一週間以上も早く、桜花爛漫の4月9日に定期理事総会を開催し、新年度がスタートいたしました。

昨年度は、須坂市民文化祭や子供わくわくフェ



元氣・本気・根気で精進を！

須坂市文化芸術協会会長 花房 多都蔵

ステイバル・議員懇談会・文化講座等、文化芸術の振興と継承のため様々な事業を開催して参りました。

特に1月16日には、スザカ迎賓館に於いて長野県市議会議長総会が開催され、アトラクションとして没後150周年の須坂藩13代藩主「堀直虎公」や須坂カッタカタまつりの「須坂小唄」の歌・演奏・舞を総勢27名により披露させていただきました。

また3月10日には、小布施町・高山村の両文化協会のご協力のもと、須高文化交流会が須坂市で開催され、長野県立信州医療センターの須藤恭弘先生による「めざせ！ピンピンコロリ」健康寿命をのばそう」の講演会を行いました。

150名の参加者は真剣に聴講し、その後の懇親会ではそれぞれの会員同士が親睦を深め、大変意義ある文化交流会となりました。

「あ」堀直虎公

花房多都蔵社中
於 長野県市議会議長総会

さて、今年度は2団体増えましたが、少子高齢化により会員数は減少してしまいました。会員の皆様には健康に留意され、元氣・本気・根気を持って精進し、伝統文化を守っていただくと同時に、団体・会員数の増加にご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、田中前中央公民館長様に感謝を申し上げますとともに、山岸新館長様はじめ行政の皆様には今後とも宜しくお願い申し上げます。

文化芸術の振興と 人づくり・まちづくり



須坂市長 三 木 正 夫

須坂市文化芸術協会の皆様におかれましては、「市民の文化力向上及び文化的な都市づくり」に寄与する」という目標を掲げられ、日夜それぞれの文化芸術活動に御精進され、また、当市の文化芸術振興にも御尽力いただいております。

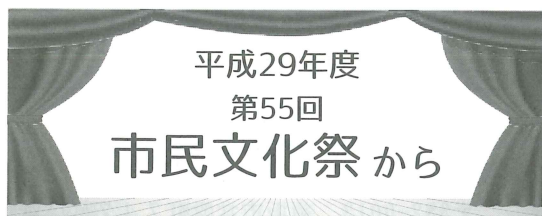
ことに、心から敬意と感謝を申し上げます。
当市では、平成28年度を初年度とした「第五次須坂市総合計画・後期基本計画」を策定し、将来像である「一人ひとりが輝き、磨かれた『ほんもの』の魅力あふれるまち須坂」の実現に向けて、「求めるから、分かち合い（愛）、与え合い（愛）、譲り合い（愛）」の市政を進めております。後期基本計画の基本目標の一つに「多様な文化を学び育て、

交流する創造的なまちづくり」といたしております。一人ひとりが持つ文化的資源を持ち寄ることでもちの文化を育て、また、個々で学んだことを地域づくりにいかすことを通して、市民の皆様が交流し、お互いを尊重し集えるまちづくりです。

また、平成23年に策定いたしました「須坂市文化芸術振興ビジョン」は、当市発展の基盤に須坂の文化、風土があることから、文化芸術を核とした「持続可能なすざか」を目指すもので、まさに須坂市文化芸術協会の会員の皆様方が日頃の活動で実践されていることであり、あらためて感謝申し上げます。

須坂市におきましては本年度、地域社会を構成する団体や企業、学校などとの共創により地域社会の課題を解決し、価値を創造することを目指して組織改編を行いました。今後他分野との連携を継続しながら、皆様と手を携えて、共創の精神により「須坂文化の継承と創造」、そして「須坂の人づくり」といった施策を進めてまいりますので、さらなる御協力をお願い申し上げます。

結びに、花房会長様をはじめ会員各位の御健勝と須坂市文化芸術協会の益々の御発展を祈念申し上げます。



平成29年度
第55回
市民文化祭 から



芸能祭（神洲流須高吟道会）



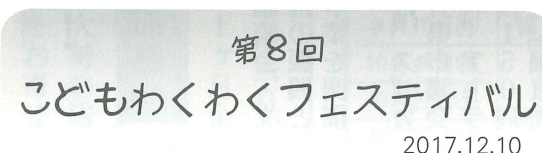
謡曲会（須坂宝生会）



音楽祭（正派雅尚会）



展示風景



第8回
こどもわくわくフェスティバル

2017.12.10



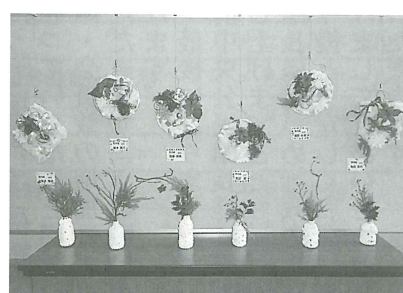
消防木遣保存会



成山吟道会



藤勢津会



展示風景

少しずつでも前進すること

須坂市中央公民館長 山岸 一 延



須坂市文化芸術協会会員の皆さまにおかれましては、日ごろから公民館活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

文化芸術活動は、私たちが充実した素晴らしい人生を送るために、必要不可欠なものであり、大変身近なものでもあります。

「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が文化芸術活動に気軽に参加、体験できる機会を提供しようと、須坂市文化芸術協会様と中央公民館が連携して開催してまいりました「文化芸術講座」も、今年で10年目という節目の年を迎えました。私個人といたしましても、10年前に中央公民館学習係長として「文化芸術講座」の立ち上げに携わっており、感慨深いものがござい

ます。この間、文化芸術協会会員の皆さまには各講座の講師をお引き受けいただき、親切丁寧なご指導をいただいております。また、会員の皆さまのご協力により、講座終了後も公民館等でサークルが作られております。文化芸術活動を継続されている講座受講者がおられることは、まさしく「文化芸術講座」を開講した目的に向かつて少しずつでも前進している証であり、ひとえに貴協会のご努力の賜物である

と心より敬意と感謝を申し上げます。結びに、花房会長様をはじめ、須坂市文化芸術協会会員の皆さま方の、益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

平成二十九年度 文化芸術講座



初心者箏教室



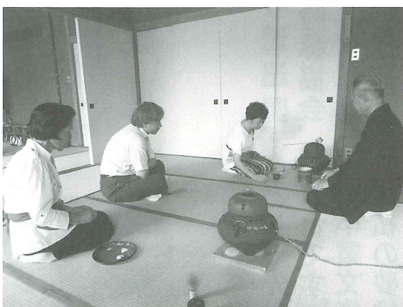
いけばな講座（草月流）



ハーモニカ教室



小唄・端唄の日本舞踊（花房流）



武家茶道入門（石州流）



気楽に楽しむ日本舞踊（藤間流）



さわやか謡曲講座（観世流）

第56回 須坂市民文化祭

芸能祭

10月28日(日)
メセナ大ホール

茶席

10月28日(日)
メセナ小ホール・ホワイエ

展示会

10月27日(土)・28日(日)
メセナ小ホール

中央公民館

謡曲会

10月27日(土)
メセナ小ホール

音楽会

10月8日(月・祭)
メセナ小ホール

新加入団体

謡曲部
観世講座の会

代表 村石 武志

音楽部
カモミール

代表 永山 浩



ようしく
お願いします



仲間づくり謡曲塾（宝生流）



裏千家の代表として、文芸協にかかわり四年目になります。理事会等に出席させていただく中で文芸協が須坂市の文化、芸術にとり大きな役割を果たしていると思いました。

裏千家茶道におきましても文芸協の歴史と共に歩んでいることを先輩の先生方より伺っております。また、茶道も文芸協にとりまして重要な役割を果たしてきましたが、昨今、文化、芸術を守り育てていくことが難しい環境にあります。各流派におきましても、後に続く若い人がいない現状です。これは、茶道だけでなく文芸協全体においても同じと伺っております。須坂市のみならず、日本の文化を

伝承し守っていくために、もつと若い世代に伝えていくことが重要だと思っています。私も文芸協と共に、微力ながら茶道を通して、茶道の良さを若い人達に伝えていきたいと思っています。

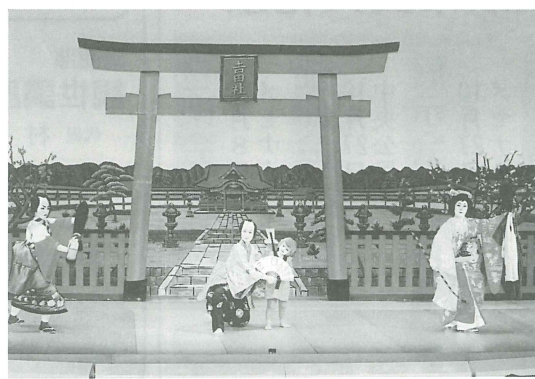
去る三月に、中央公民館で、使用団体代表者会議がありました。広い三階ホールに出席の大勢の皆様が、文芸協のお仲間、それぞれの『ぶんや』でお勉強を続けておられることを思い須坂市をたのしく感じました。私の詩吟は、腹筋に力を入れて、発声するの



で、非常に健康的ですが、あわせて勉強せねばならないことがあるのです。漢詩の作者達のこと、中国の李白、杜甫、杜牧、などはもちろん、あまた日本の作者達のこと、どのような人、どのような時にその詩を作られたか、その詩の心を表現しながら吟じる難しさ、吟詠、朗詠共に奥深い勉強が求められます。

「将来の夢はおどりの先生になることです」小学校の卒業文集に書いた私の夢は実現しました。しかし、人に芸を教える事の難しさと共に、自分がいかに無知であり、未熟であるかを思い知らされる日々であります。

伝統芸能とは、



よりも嬉しい事です。今、私に足りない多くの事はこれから娘やお弟子さんが教えてくれると思います。日本舞踊を続けさせてくれた両親への感謝と共に藤間流の型と師匠の香りを大事に大切に繋いでいきたいです。ここ須坂で学び須坂で教え伝える事が出来る事に嬉びを感じます。

文芸協と私

①

文芸協と私

裏千家 最上宗裕

文芸協と私

②

文芸協と私

尚道流吟道会 大野麗道

文芸協と私

③

教え伝える事

藤洋会 藤間清葉

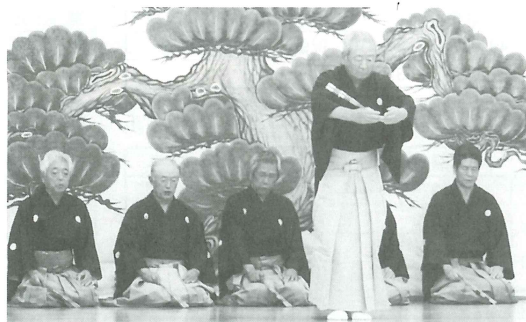
文芸協と私

④

文芸協と私

柏謳会 村石 武志

平成二十七年に「幹事」を仰せつかり、役員の方にお加え頂き、文芸協の活動は全く分らず、事務局や会長の言うがまま、行動してまいりました。幹事の任期終了間際に今度は「事務局」を仰せつかりました。能力的にむりだと判断し、ご辞退致しましたが、結局お引き受けするに至りました。



その任期もあと一年となり、来年にはどんなにかにお引き受け頂かなければならない時期がまいります。どなたがお引き受け頂いても「楽」に出来る様工夫しなければなりません。

その一つが会議資料の作成です。各々の会議に何を議題とするかを決め、どの様な内容にするか、資料は何が必要か等あらかじめ十分議論する必要があります。一人に集中することとは、避けるべきで、可能なかぎり大勢で対応しなければなりません。パソコンが出来る方はそれ以外を分担する各人で出来ることは皆でやるようにすべきです。

文芸協と私

⑤

文化祭に参加して

蔵の町すざか 昔を語る会 広間 軌子

ふるさと須坂の歴史、伝説、民話、を伝え残そう！を目標に会を立ち上げ15年に。年代をこえ、たのしく理解しやすくする為に紙芝居を数多く作成しました。文芸協からお誘いを受け仲間に入れていただき5年になります。文化祭に参加させていただき発表の場が一つ増えました。通常は近くで見ると、懐かしいあたたかい雰囲気につつまれ、口演が引き立ちました。遠くの席からも解るようにつまらせたプロジェクトです。御協力いただいた他グループの方には感謝です。伝統文化を繋いでいく方々と交流させていたいただきながら、紙芝居も日本独自の文化であることに誇



りをもって活動していきたいです。今年も文化祭で発表させていただくことを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

文芸協と私

⑥

出合いに恵まれて

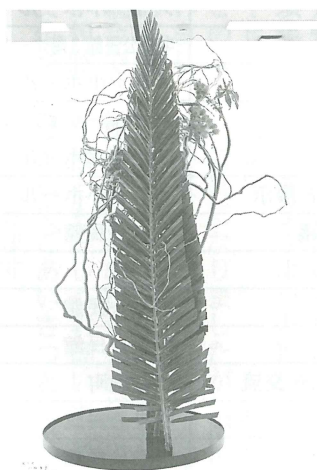
草月流 小林 孝子

例年になく三月の暖かさが早い春を呼び、美しい花々・やわらかな緑・心地よい風・季節の移ろいを感じさせます。

いけばなの道をめざし、日々沢山の植物との出合いを大切にしています。

「自然の花の中からいけばなという別な花が咲くのだ。別な花が咲くという、そのことが大切なのだ」初代勅使河原蒼鳳家元の言葉です。この思いを表現出来るようにこれから技術を見がいてゆきたいと思

います。いけばなでは無数の植物との出合いと多くの方々とのご縁に恵まれました。展示部で



は流派を越えて、交流の輪を広げてまいりました。その中心的存在でいらつしやいました宏道流(望月)黒岩澄子先生がお亡くなりになられました。文化祭では社中の皆様の作品を指導され、会場を盛りあげて頂きました。穏やかなお人柄と積み重ねられた豊富な経験から色々な事柄を適切にアドバイスされご指導下さいました。ありがとうございます。これからも展示部の輪を大切にしてゆきたいと思

平成29年度須坂市文化芸術協会決算書

平成30年度須坂市文化芸術協会予算書

平成29年4月1日～平成29年3月31日

平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年4月1日承認

収入金額	1,487,510円	収入金額	1,289,000円
支出金額	1,389,622円	支出金額	1,289,000円
差引残高	97,888円(次年度繰越金)	差引残高	0円

収入の部					収入の部				
単位・円					単位・円				
項目	予算額	決算額	増減	摘要	項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
繰越金	58,383	58,383	0	前年度から	繰越金	97,888	58,383	39,505	前年度より繰越
会費	740,000	938,900	198,900	39団体×3,000円、665人×500円 子どもわくわくフェスティバル、新年交流会等	会費	740,000	740,000	0	40団体×3,000円、665人×500円 子どもわくわくフェスティバル、新年交流会等
補助金	450,000	450,000	0	須坂市から	補助金	450,000	450,000	0	須坂市から
雑収入	1,617	40,227	38,610	祝儀、御礼、利息等	雑収入	1,112	1,617	△ 505	利息・祝儀等
合計	1,250,000	1,487,510	237,510		合計	1,289,000	1,250,000	39,000	

支出の部					支出の部				
単位・円					単位・円				
項目	予算額	決算額	増減	摘要	項目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	20,000	38,228	18,228	役員会、理事会、監査、冷暖房費等	会議費	18,000	20,000	△ 2,000	役員会、理事会、監査、冷暖房費等
渉外費	10,000	12,000	2,000	市幹部新年記念大会等(須高書道、須高大会)	渉外費	10,000	10,000	0	
普及活動費	45,000	44,449	△ 551	子どもわくわくフェスティバル 連携講座	普及活動費	45,000	45,000	0	子どもわくわくフェスティバル 連携講座
通信・事務費	40,000	35,091	△ 4,909	コピー用紙、コピー代、はがき代等	通信・事務費	40,000	40,000	0	コピー用紙、コピー代、はがき代等
負担金	50,000	38,000	△ 12,000	須高文化交流会(各種大会)	負担金	45,000	50,000	△ 5,000	須高文化交流会、各種大会
事業費	1,050,000	1,141,854	91,854	文化祭、その他	役務費	30,000	0	30,000	
内					事業費	1,066,000	1,050,000	16,000	文化祭、その他
名簿・会報	74,000	73,980	△ 20		内				
広告	90,000	72,560	△ 17,440		名簿・会報	80,000	74,000	6,000	
プログラム	185,000	129,600	△ 55,400		広告	80,000	90,000	△ 10,000	
謡曲部	38,000	39,000	1,000		プログラム	140,000	185,000	△ 45,000	
音楽部	68,000	67,000	△ 1,000		謡曲部	44,000	38,000	6,000	
芸能部	240,000	252,000	12,000		音楽部	75,000	68,000	7,000	
展示部	54,000	58,000	4,000	個人会費2,500円含む	芸能部	287,000	240,000	47,000	
茶席部	21,000	13,000	△ 8,000		展示部	60,000	54,000	6,000	個人会費含む
その他事業	280,000	436,714	156,714	職員懇談会、新年交流会、須高文化交流会等	茶席部	20,000	21,000	△ 1,000	
予備費	35,000	80,000	45,000	特別事業積立金	その他事業	280,000	280,000	0	行政懇談会、新年交流会
合計	1,250,000	1,389,622	139,622		予備費	35,000	35,000	0	
					合計	1,289,000	1,250,000	39,000	

特別事業積立金 100,000円

平成30年度須坂市文化芸術協会事業計画

期日	事業	内容	場所
4月9日(月)	定期理事会	決算報告・事業計画など	中央公民館
5月11日(金)	編集委員会	校正	中央公民館
6月7日(木)	連携講座の開始	触れよう尺八ほか6講座	中央公民館
5月24日(木)	第1回常任理事会	第1回理事会付託議案審議	中央公民館
6月11日(月)	第1回理事会	行政懇談会・予算ほか	中央公民館
7月14日(土)	行政懇談会	行政側との意見交換会	中央公民館
7月21日(土)	須坂カッタカタまつり	芸能部参加	駅前通りほか
8月20日(月)	第2回常任理事会	第2回理事会付託議案審議	中央公民館
9月10日(月)	第2回理事会	市民文化祭・子どもわくわくフェスティバルほか	中央公民館
10月8日(祝)	第56回 市民文化祭	音楽祭	メセナ小ホール
10月27日(土)		謡曲会	中央公民館3階ホール
10月27日(土)・28日(日)		展示会	メセナ小ホール
10月28日(日)		茶席	メセナ小ホール ホワイエ
10月28日(日)		芸能祭	メセナ大ホール
12月9日(日)	第9回子どもわくわくフェスティバル	子ども達の舞台発表と展示	メセナ小ホール
12月17日(月)	第3回常任理事会	新年交流会実施案審議	中央公民館
平成31年			
1月21日(月)	第4回常任理事会	新年交流会最終確認	中央公民館
2月2日(土)	文芸協新年交流会		中央公民館
2月	須高文化交流会	須坂・小布施・高山・文化交流	小布施町
3月25日(月)	第5回常任理事会	当年度事業及び決算報告・次年度事業計画ほか	中央公民館
3月31日(日)	会計監査	30年度事業・収支監査	中央公民館

編集後記

桜の季節が足早に去り、
新年度がはじまり1ヶ月余
りが過ぎました。
この度も「文芸協すぎか」
の発刊にあたり、大勢の皆
さまに貴重な原稿をお寄せ
いただき、心から感謝申し
上げます。
(宮崎)

宮崎さと子・北原 勲
藤田 健一・中島 雅景
市村 文男・牧 政子
青木日出雄・山岸 文子
高坂恵美子